

「これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。～彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです。それゆえ、神は彼らの神と呼ばれることを恥となさいませんでした。事実、神は彼らのために都を用意しておられました。」へブル人への手紙11：13～16

♪誰よりも誰よりも 愛されている私
誰よりも誰よりも 愛されているあなた
人生は山あり谷あり 色んなことあるけれど
私たちはかけがえのない 大切な大切な存在
大きな愛で包まれている 世界で一番愛されている♪

今長崎にチームが派遣されていますが、その映像に流れている賛美です。私たちは命を懸けて愛された存在です。26聖人はそれを誰よりも知っていたと思われます。耳をそがれ、900Kmの道のりを厳寒の1月2月に京都から長崎にまで歩かされました。最後は十字架にかけられ、槍で突かれるというまさに痛み苦しみの極みを体験させられてきた殉教者です。この1か月の間にさらにイエス、キリストの負われたお苦しみを体験し、キリストに近い者と変えられていったでしょう。約束のものを手に入れることはできず、この世では旅人であり、寄留者であることを告白していました。彼らは天の故郷にあこがれ、本当に帰るべきパライソ(天国)をしっかりと見ていました。そして彼らは喜んでいたというのです！

禁教令を出してキリシタンを捕えた太閤秀吉や役人を赦しながら、赦すだけではなく彼らが救われることを祈りながら天に駆け上がっていった殉教者たち。私たちも、この殉教者にならうものとなれますように！！

なぜ、彼らはそのような信仰を持つことができたのでしょうか？先ず、上の歌のように主イエス、キリストの愛をよく知っていたこと。そして天の故郷が真の終点であり、死は決して終わりではなく、永遠への通過点でしかないことを知っていたのです。また、戻り橋でもはっきりと信仰告白していましたが、何度も試みにあったでしょうが、決して戻らないという決心をし祈っていたでしょう。そして一人では弱くても、26人が互いに労り合い愛し合い祈り合いながら励ましあっていたでしょう。これは教会の恵みです。

「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」ヨハネ16：33 「霊の父は、私たちの益のため、私たちをご自分のきよさにあずからせようとして、懲らしめるのです。」へブル書12：10「聖くなければ、だれも主を見ることはできません。」へブル12：14

今の時代日本に住んで特別な事情がない限り、主イエスを信じているから捕らえられ殺されるということはないかもしれません。しかし思うようにならない事であったり理不尽な事、様々な自分を否定されるような出来事に会うでしょう。その様な時に、この殉教の教えは適応されるのではないのでしょうか！？敵を赦し自分に死んで相手を受け入れ、黙し祈る、、、それこそあの26聖人始め、殉教者辿った道ではないのでしょうか！

TLEA FRH Church [The Light of Eternal Agape]



FRH

(天に登録されている長子たちの教会)

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師：イエス・キリスト
ノア勝裕&和子

Siloam

(シロアム：遣わされた者 ヨハネ9：7)

2019年9月22日No.1069

<マタイ13：23>

ところが、良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、

その人はほんとうに実を結び、

あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。

♪ God is working for my good , now , for my good ,
for my good , God is working for my good , Yes , You really are! ♪

<http://astone-blog.jp/tleafRH/>